

第3回「CSRに関するお取引先調査」の結果

I. 調査概要

お取引先企業にCSRを意識した事業活動を実践していただき、サプライチェーン全体のレベルアップを目指すため、お取引先の取組み状況を定期的に調査しています。
第3回CSR調査では、6項目(全27問)についてお取引先による自己診断調査を実施し、回答をいただきました。

＜設問項目＞

- | | |
|---------------------------------|------|
| 1. CSR推進のための社内体制 | (3問) |
| 2. 安定供給の確保、品質 | (3問) |
| 3. 企業倫理、法令、社会規範の遵守と公正な取引 | (5問) |
| 4. 環境への配慮 | (7問) |
| 5. 人権尊重、安全・衛生 | (4問) |
| 6. 社会貢献、社会とのコミュニケーション、情報管理・開示ほか | (5問) |

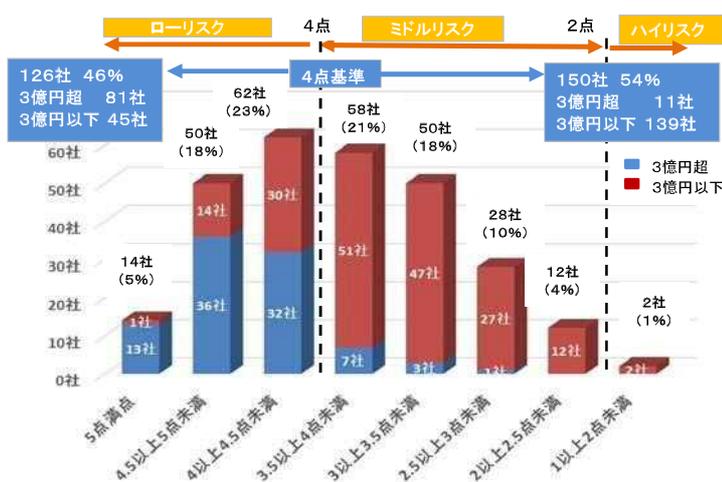
自己診断調査では、具体的な取組み水準を設定し全27問の設問について、5段階評価で現状に一番近いと思われる水準(0～5)を選択いただきました。

水準	状況	状況【例】
5	取組み、対策を実施し、チェックする仕組みがある	・運用状況について、定期的に監視等を行ないフォローする仕組みがある
4	一定レベルの取組み、対策を実施している	・会社的に方針・基準が周知されており、運用されている
3	一部での取組み、対策を実施している	・会社としての方針・基準があり、既に一部で運用されている
2	何らかの取組み、対策を検討している	・項目の内容について重要性を認識、既に社内関係部門で対策を検討している
1	何の取組みや対策も実施していない	・項目の内容についてあまり重要性を認識していない
0	非該当	

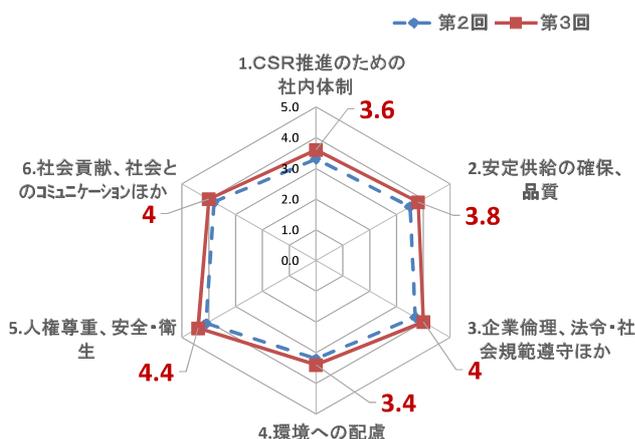
II. 調査結果

第3回CSR調査では、既存のお取引先276社に2019年1月に調査回答を依頼し、2019年7月までにすべてのお取引先より回答をいただきました。
(既存お取引先276社で資材・工事、燃料油・包装材料の購買金額の90%を占めています)
調査結果の全体平均水準は3.8で、ある一定レベルの取組みや対策が実施されています。
資本金3億円超の大企業の平均水準は4.5、資本金3億円以下の中小企業は3.5と1ポイント低い結果となっています。
項目別に見ると「人権尊重、安全・衛生」に関しては取組み水準が高い一方で、「環境への配慮」の点数が相対的に低い結果となりました。
評価ランクでは、水準4以上をローリスク、4未満～2以上をミドルリスク、2未満をハイリスクとし評価したところ、ローリスク126社、ミドルリスク148社、ハイリスク2社という結果になりました。

CSR調査集計結果



第2回と第3回の回答比較(項目別レーダーチャート)



III. 集計・分析後の取組み

回答を頂いた全276社へ調査結果のフィードバックレポート(全社平均と回答企業の項目別得点率)を送付し、お取引先に自己診断結果の確認を行っていただき、更なるレベルアップをお願いしております。
特に下位10社のお取引先については面談を実施し、回答内容を確認し更なる改善努力をお願いしました。

【前回(第2回)調査からの改善状況】

前回調査時、全体平均は3.6でしたが今回は3.8と向上しており、前回調査時にフィードバックレポート送付でお取引先へ更なる改善努力を依頼した結果が反映された形となりました。
特に前回調査で下位10社となった取引先に対しては面談にて回答内容の確認と改善要請を行っており、全体平均前回1.81から今回3.54と大幅な改善効果が得られました。